

学生ならびに保護者 各位

新型コロナウイルス感染症第5波の急激な拡大が続き、群馬県においても、本日（8月20日）緊急事態宣言が発令されました。

群馬県の新規感染者は、8月18日-314人、8月19日-317人と過去最多が連日続いています。ワクチンの接種率が高い65歳以上の感染者は少なくなった一方で、若年層の感染者が増加しています。10代を含む若年層にも感染が急増していることから、県立学校では更なる感染の急拡大を防ぐため2学期の始業式当日から9月12日までの期間を「健康観察期間」として分散登校・オンライン授業が実施されることとなりました。

当校では、本日から1～3学年の全ての学生が揃い、「感染予防対策・感染予防行動」のもと、授業に取り組んでおります。今後の感染状況によっては、保健医療福祉機関に勤務する非常勤講師の来校が困難となることも危惧されますが、ZOOMによる遠隔授業等により、学習機会を確保して参ります。また、8月23日から開始となる医療機関の臨地実習は、学内で代替実習を実施し、学生の知識・技術・態度の統合を目指します。

ウイルスの多くがデルタ株へと置き換わることで9歳以下の感染者も急増しています。その多くは親などからの家庭内感染ですが、子供が親より先に感染し、家族全員が感染することがあることも指摘されています。家庭内感染を予防するとともに、発症及び重症化を防ぐためにもワクチン接種券をお持ちで、健康上問題がない場合には、どうぞ、早期のワクチン接種をご検討ください。

また、感染者の事例として「同居家族以外の人との食事」「友人との外出や会食」「親戚や友人宅への宿泊」「カラオケ」等が多くあります。学生と保護者の皆様におかれましては、これまで「渋川看護専門学校 COVID-19 感染予防対策・感染予防行動」「渋川看護専門学校 新型コロナウイルス感染症にかかわる対応」にご協力いただいているところですが、さらなる徹底をお願いいたします。学生の皆さんは、当校が定める感染予防対策・感染予防行動の意味を理解し、家族・友人に、その必要性和方法を正しく・わかりやすく伝えてください。万一、同居家族に感染予防行動が守れなかった方があった時には、家庭内においてもマスクを着用し、学校内と同様の感染予防行動を徹底してください。

新型コロナウイルス感染症の急拡大により、現在、医療機関は大変厳しい状況にあります。このまま感染が拡大すれば、新型コロナウイルス感染症に限らず、他の病気であっても必要な医療を適時に受けられない状況となります。この爆発的な感染拡大を食い止めるために、私たちにできることは、自身が感染しないよう行動する自己防衛と、自己防衛に努めることができる人を増やすことです。危機感を持って、今できることに取り組んで参りましょう。

2021年8月20日

渋川看護専門学校学校長 井口千春